平成 29 年 2 月 12 日

# 「里山の春を探しに」

ＮＰＯ法人四季の森里山研究会
大塚・宮下・武田・川窪

■スプリング・エフェメラル

春の妖精たち。エフェメラルとは、つかの間の、はかない、短命なという意味。春先に花を咲かせ、夏まで光合成を行って地下や種子に栄養分を蓄え、春まで地下茎や球根で過ごします。春を告げるフクジュソウ、セツブンソウなどを観察してみましょう。

■カラタネオガタマの話

モクレン科。独特の深みのある紫色の花が印象的。花期は 5 月で花にはバナナのような甘い香りがある。

■縁起の良い野草

・フクジュソウ（福寿草）：キンポウゲ科。「元日草」「ついたちそう」とも。福寿草の花と南天の実で縁起物の飾り付け

・ナンテン：メギ科。難を転じることから、盗難、災害、魔除けとされる。

■春の息吹を感じる黄色い花

・マンサク：マンサク科。春に他の植物に先駆けて花が咲くので「まず咲く花」から「まんさく」になったらしい。花がたくさん咲くので「豊年満作」とも

・サンシュユ：ミズキ科。別名「ハルコガネ」、「アキサンゴ」とも。花は 3 月から 4 月

・ミツマタ：ジンチョウゲ科。原産地はヒマラヤ地方で江戸時代初期に渡来

「ミツマタと和紙づくり」

・ソシンロウバイ：ロウバイ科。花弁が鮮やかで中心部も淡黄色。ロウバイは中心部が少し紫褐色

■ロゼットの話

・オオバコやタンポポのようなかたちをロゼット。ローズ（バラ）のような花の模様

■春の到来を告げる梅

・バラ科。野梅（やばい）系、紅梅（緋梅：ひばい）系、豊後（ぶんご）系の 3 系統

・野梅系は原種に近い系統で枝の断面は白色。紅梅系は花の色や枝の色にかかわらず枝の断面が紅色

■縁起木

・マンリョウ：ヤブコウジ科。赤い実をつける常緑樹。金運に恵まれ、商売繁盛となる。

・センリョウ、ヒャクリョウ、ジュウリョウ、イチリョウ

■葦の話

・≪片葉の葦≫（越後七不思議のひとつ）「繋ぎ榧」「珠数掛桜」「逆さ竹」「八英の梅」「三度栗」「焼き鮒」。越後七不思議のひとつに数えられ「親鸞が起こした奇跡」

■「ヤブツバキ」と「花ことば」

・ヤブツバキ：ツバキ科。多くある園芸品種の母樹

・「花ことば」：いろいろな花（樹も）に人々が共感する意味（言葉）を含ませたもの

・ギリシャやローマ時代から存在したが、「近代の花ことば」（とくに恋愛に関わる）のルーツは、トルコの花などの組み合わせで思いを伝える「セラム」という風習が１８世紀にヨーロッパに伝えられた事にある。日本には、明治の初めに伝わったらしい。

【植物の花ことば】

・カラタネオガタマ：甘い誘惑

・フクジュソウ：永久の幸福・思い出・幸福を招く・祝福

・ナンテン：私の愛は増すばかり・よい家庭

・マンサク：幸福の再来、霊感、ひらめき、神秘、直感

・サンシュユ：耐久、強健、気丈な愛

・ミツマタ：強靭、意外なこと,壮健、永遠の愛、肉親の絆

・ロウバイ：先導・先見・慈愛・やさしい心

・ウメ：高潔・独立・忍耐・上品

・マンリョウ：硬い誓い・慶祝

・ツバキ：理想の愛・謙遜・控えめな愛・気取らない美しさ（赤）申し分のない愛らしさ・理想的な愛情（白）

<u>メモ</u>

●次回は 3 月 12 日（日曜日）13 時より、テーマは「サクラ前線と足元の植物」です。